

地域再生計画の新旧対照表

変更前	変更後
<p>4 地域再生計画の意義及び目標 (略)</p> <p>市内の学童クラブは平成8年度に11クラブであったが、平成17年度では33クラブに増えており、今後も増加することが予想されている。学童クラブは、多数の児童が利用するため、敬遠されることが多く施設を探すのに苦労している。また、児童が安全にのびのびと育つ環境にない施設もある。</p> <p>(略)</p> <p>なお、平成16年度は、当時空き教室のある7市立小学校で実施し、平成17年度は4校について実施した。平成18年度は新たに空き教室が生じた1校について追加して実施する。平成19年度以降は空き教室が生じた学校について追加して実施することを検討する。</p>	<p>4 地域再生計画の意義及び目標 (略)</p> <p>市内の学童クラブは平成8年度に11クラブであったが、平成18年度では37クラブに増えており、今後も増加することが予想されている。学童クラブは、多数の児童が利用するため、敬遠されることが多く施設を探すのに苦労している。また、児童が安全にのびのびと育つ環境にない施設もある。</p> <p>(略)</p> <p>なお、平成16年度は、当時空き教室のある7市立小学校で実施し、平成17年度は4校、18年度は1校について実施した。平成20年度は新たに空き教室が生じた1校について追加して実施する。平成21年度以降は空き教室が生じた学校について追加して実施することを検討する。</p>
<p>5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果 (略)</p> <p>学校という公共性の高い、安全で充実した環境の中で空き教室を活用して学童クラブの運営を行うことによって、保護者に安心感を与え、家庭の経済的負担も減らすことができる。具体的には、平成18年度に追加する1校で学童クラブを利用する人数は10人増と見込んでおり、その分上記のようなメリットを地域全体で共有することになると考えられる。学童が増えれば、指導員の増加につながる。また指導員と教員の連携により児童への教育等の充実が期待できる。</p> <p>(別紙)</p> <p>1 支援措置の番号及び名称 番号 10801 名称 補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化</p> <p>2 (略)</p> <p>3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取り組みの内容 (略)</p> <p>(支援措置の適用要件について)</p> <p>① 夏島小学校、豊島小学校、鴨居小学校、神明小学校、山崎小学校、岩戸小学校、大矢部小学校、粟田小学校、望洋小学校、小原台小学校、浦賀小学校は昭和39年条例第39号「市立学校設置条例」において設置されている学校である。また旧坂本小学校の校舎は平成12年3月5日まで桜小学校の校舎として使用され(平成12年2月25日 規則第3号)、現在は廃校校舎である。廃校校舎等の転用の弾力化について、横須賀市が認定申請するものである。</p>	<p>5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果 (略)</p> <p>学校という公共性の高い、安全で充実した環境の中で空き教室を活用して学童クラブの運営を行うことによって、保護者に安心感を与え、家庭の経済的負担も減らすことができる。具体的には、平成20年度に追加する1校で学童クラブを利用する人数は30人増と見込んでおり、その分上記のようなメリットを地域全体で共有することになると考えられる。学童が増えれば、指導員の増加につながる。また指導員と教員の連携により児童への教育等の充実が期待できる。</p> <p>(別紙)</p> <p>1 支援措置の番号及び名称 番号 10801 名称 補助金で整備された公立学校の廃校校舎等の転用の弾力化</p> <p>2 (略)</p> <p>3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取り組みの内容 (略)</p> <p>(支援措置の適用要件について)</p> <p>① 夏島小学校、豊島小学校、鴨居小学校、神明小学校、山崎小学校、岩戸小学校、大矢部小学校、粟田小学校、望洋小学校、小原台小学校、浦賀小学校、野比東小学校は昭和39年条例第39号「市立学校設置条例」において設置されている学校である。また旧坂本小学校の校舎は平成12年3月5日まで桜小学校の校舎として使用され(平成12年2月25日 規則第3号)、現在は廃校校舎である。廃校校舎等の転用の弾力化について、横須賀市が認定申請するものである。</p>

②（略）

具体的には、平成18年度追加する1校で学童クラブを利用する人数は10人増と見込んでおり、その分上記のようなメリットを地域全体で共有することになると考えられる。学童が増えれば、指導員の増加につながる。また指導員と教員の連携により児童への教育等の充実が期待できる。

②（略）

具体的には、平成20年度追加する1校で学童クラブを利用する人数は30人増と見込んでおり、その分上記のようなメリットを地域全体で共有することになると考えられる。学童が増えれば、指導員の増加につながる。また指導員と教員の連携により児童への教育等の充実が期待できる。